

★ ファミリーアワー

幼児から小学校低学年のお子様連れのご家族にも安心して楽しんでいただける、遊び心あふれるプログラムです。今晚の星空はもちろんです、宇宙旅行や冒険にもでかけます。初めてプラネタリウムをご覧になるという方もおすすめです。

日時によっては、子ども会などでの団体予約も可能です。詳しくはお問い合わせください。

4/ 1 ~ 5/22 『太陽系アドベンチャー』

5/28 ~ 10/16 『とびだせ！星の世界へ』

10/22 ~ 1/29 『火星への旅』

2/ 4 ~ 『太陽系アドベンチャー』

★ その他

その他に、幼児、小4、小6、中学生団体向けの学習投影、字幕付きプラネタリウムなど、様々な投影がございます。

詳しくは下記の名古屋市科学館ホームページをご覧ください。

<http://www.ncsm.city.nagoya.jp/>

★ 投影基本パターン

(投影時間は約 50 分間です)

	10:00	11:20	12:40	14:00	15:20	16:40
日曜・祝日	一般	ファミリーアワー	一般	ファミリーアワー	一般	一般
土曜日	一般	一般	一般	ファミリーアワー	一般	一般
平日	学習 一般	学習 一般	学習 一般	一般	一般	一般

- ★ 学校の春・夏・冬休み中は、内容が異なります。
- ★ 都合により内容変更や休演の場合があります。
- ★ 詳しくは当館ホームページの「投影スケジュール」をご確認、またはお問い合わせください。



★ インフォメーション 2022.4 ~ 2023.3

観覧料

種類	区分	展示室とプラネタリウム	展示室のみ
観覧券 (当日1回)	一般	800円	400円
	高大生	500円	200円
	団体	20名から(有料30名以上1割引・100名以上2割引)	
定期観覧券 (1年間有効)	一般	3,200円	1,600円
	高大生	2,000円	800円

※中学生以下は無料です。 ※大学生・高校生は学生証が必要です。
※特別展など別料金が必要な場合があります。

展示室観覧時間 午前9時30分～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日

毎週月曜日(祝日の場合は直後の平日・5/2・8/15は特別開館)
毎月第3金曜日(祝日の場合は第4金曜日・8/19は特別開館)
年末年始(12/29～1/3)
5/10・9/6・9/7は臨時休館

9/8(木),9/9(金)は開館しておりますが、
プラネタリウムのみ休演いたします。

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目17番1号
(芸術と科学の杜・白川公園内)
TEL: 052-201-4486 FAX: 052-203-0788
<http://www.ncsm.city.nagoya.jp/>

広告

NTPグループは名古屋科学館プラネタリウムドームの
ネーミングライツスポンサーです。

NTP ぶらねっと
P L A N E T



NTP GROUP

NTPグループホームページ
www.ntpgroup.jp/



名古屋市科学館 プラネタリウム 年間ガイド



光学式プラネタリウムによる限りなく本物に近い星空。デジタル式プラネタリウムによる迫力ある宇宙体験。天文現象や最新研究データの可視化。そして7名の専門学芸員による生解説をお楽しみください。

2022.4 ~ 2023.3

世界最大級 35m 水平ドーム 350 席のリクライニング&回転シート



「NTP ぶらねっと」は
プラネタリウムドームの専用ブランドです。

NTP ぶらねっと

★ 一般投影

今夜の星の探し方から、その時々天文現象、天文や宇宙の様々な話題等を、月替わりで取り上げます。一般の方向けに、専門学芸員が生で解説します。

4月『北斗七星は星時計』 4/16～5/11

この時期は北斗七星の見頃。印象的な星々の並びは、さまざまなものに見立てられ、お話が作られてきました。そして、北極星を中心に回る北斗七星は、時刻や季節の目じるしにもなるのです。

5月『南半球の星空』 5/12～6/16

プラネタリウムは世界中の星空をドームに映し出すことができます。その機能を活用して、名古屋からは見られない南半球の星空を見に行きましょう。星空の海外旅行をお楽しみください。

6月『金・銀・プラチナどう出来た？』 6/18～7/20

身の回りの多種多様な元素は、長い年月をかけて星が作り出してきたものです。最近の観測によって、金、銀、プラチナのような重い元素は中性子星同士の合体で作られたことがわかってきました。

7月・8月『ようこそ、宇宙旅行へ』 7/21～8/31

民間企業による宇宙飛行が現実のものになりました。日本人宇宙飛行士も地球周回だけでなく、月での活動も視野にいれて募集されました。夢物語から現実へ。宇宙旅行の今を見ていきましょう。

9月『宇宙の天文台』 9/1～9/30

地球大気の影響を受けない宇宙空間は天文観測の理想の場所。しかし望遠鏡の開発や運用はとても困難です。有名なハッブル宇宙望遠鏡から最新のものまで、さまざまな宇宙の天文台を紹介します。

10月『皆既月食の魅力』 10/1～11/9

満月が地球の影に入って暗赤色に変わる皆既月食。今回の皆既月食は欠け始めから終わりまでを夜半前に楽しめます。久々、好条件の皆既月食のポイントを事前に知って、月食当日をお楽しみ下さい。

～ 科学館 60 周年記念 ～

11月『天文学 60 年のあゆみ』 11/10～12/7

1962年に名古屋市科学館が開館し、今年で60年。その間に天文学はめざましく進展しました。宇宙の始まりから小惑星探査まで、科学館と天文学のあゆみをたどります。

12・1月『火星接近？』 12/8～1/31

火星は2年2ヶ月毎に地球との距離が近くなり、明るく見えます。今回は目立つ星が多い冬の星座の中で赤い惑星が際立ち、見ばえのする接近になります。接近のしくみや楽しみ方をお話しします。

2月『電波天文学最前線』 2/1～2/28

目には見えない電波の領域で観測すると、可視光線ではわからない宇宙の姿を知ることができます。観測に使われる電波望遠鏡には、巨大化やたくさん並べるなど、様々な工夫が凝らされています。

3月『ふたごの星』 3/1～

大昔から人々は星空を見上げ、そこにさまざまな物語を想像してきました。星座や星の物語はギリシャ神話だけではなくありません。ふたごの星のニックネームやユニークな物語を紹介します。

★ 星とあなたをつなぐ場所 ★

名古屋市科学館・プラネタリウム



★ 夜間投影 (18:30～19:30)

— 申込制 —

夜6時半からの大人限定の投影です。七夕やお月見、オーロラなど、その時々になんだ天文の話題を取り上げます。各回のテーマをご確認の上、お申し込みください。

人数： 350人 料金： 700円

対象： 高校生以上の大人限定です。中学生以下は乳幼児を含めて入場できません。

申込： ① 往復はがき

催し名、開催日、代表者の住所・氏名・電話番号、参加人数(5名まで)、返信あて名を記入して、名古屋市科学館「〇月〇日の夜間投影」係までお申し込みください。

② インターネット申し込み

名古屋市電子申請サービスより「キーワード検索」にて「名古屋市科学館」と入力してください。

<https://ttzk.graffer.jp/city-nagoya>

※ 応募者多数の場合は抽選になります。



「夜間投影のテーマ」 開催日	受付開始日～ 申込締切日 (必着)
「世界の星座たち」 5月 21日 (土)	4/8～ 4月 26日 (火)
「星空のオルゴール」 6月 4日 (土)	4/22～ 5月 17日 (火)
「七夕の夜」 7月 7日 (木)	5/25～ 6月 13日 (月)
「旧暦七夕の夜」 8月 4日 (木)	6/22～ 7月 11日 (月)
「お月見の夜」 9月 10日 (土)	7/27～ 8月 15日 (月)
「皆既月食直前 SP」 11月 4日 (金)	9/23～ 10月 11日 (火)
「クリスマス之夜」 12月 23日 (金) 12月 24日 (土)	11/9～ 11月 28日 (月) 11/9～ 11月 28日 (月)
「オーロラの夜」 2月 3日 (金) 2月 4日 (土)	12/22～ 1月 10日 (火) 12/22～ 1月 10日 (火)